(量子か学における意)定〉 多利定の天息即一一年12、安殿結果を向題を(再現・含言できる) 簡単のでか A自己共役演算子 スパックトル集合 spec(A)={a, a2, ... yの要素はすがこ固有値(j+j/ならり+a5/) 固有值的 固有状態 [4] ||4||=1 (4) 任意的根据他生的在状態  $(1) | (4) = \sum_{i=1}^{\infty} d_i | (4)^2 \times \mathbb{R}$  $d_j = \langle \psi_j | \Psi \rangle$ 出態197にないて名を到定すると確率り=1d;12z"> 知理の基本芸的に る母学がど 到定結果 Qj が得るいる。 Sch.eq. による状態の変化は連続 三則定後の状態は「中)になる。一分状態の不連続を変化。

多量子でノン効果



2

× 1222 #

の セツン (Bc 490~430) 古代ギリシャので学者 の 運動の不可能に上てアキレスとかめ」「飛んでいるをは止まっている」

四量子也少效果到定压品2状態的時间象化が中間过出了。?

何 る 場中のスセッ (1) ドニー w Ŝx (w+oは定数) Sch. eq.の解(2) [4(H)) = cos型t [个) + i sin型t [1)

YZ面内での回転運動.

(3) [4(0))=[1) 時刻 0でを高したのき

時刻水>02° Sz 电测定

「磁率 (cosyd) で 个を得る -> 事腔後の状態 (个) 確率 (siny ot) 2 VE得3 -> 其底後の状態 (1) · 時刻 杜飞 \$2 色飘定 では、(cosydt)では、ナーン 「クン or ではず (sinydt)では、ナーン 「レン であり代覧にいてから · 時刻2 st z" Sz 电测定 では、(cosydt)<sup>2</sup>でイナートンOR では(sinydt)では、 · 時刻3 At Z" Sz 电测定

時刻はこれまでずって个が三則定されつがける電学



すっと見ていると状態は変化なりとろう。吹きにはあり、?



「到定」は単に見ていることとは不質的にちから

今に見2113」 現底には一般にはエネルギーが必要

基点状態(个)、基点元かけーーと

かどら来を制定→割定後の状態一)=量(かけり)、トン=豆(かーし)

制定後の工化中期待便

多割定とエネルギー

(3) (c/ f/c) = 0

(2) (-) [A |-) = = = { (1 + (1) A (11) + 16)

到定にはスセックひつまたり子のでものエネルサーガン文色

(1) 
$$\widehat{H} = \frac{\widehat{p}^2}{2m} + V(\widehat{x})$$
 (2)  $V(\widehat{x}) = \begin{cases} 0 & |\widehat{x}| \leq q \\ V_0 & |\widehat{x}| > q \end{cases}$ 
(3)  $\widehat{E}_{GS} \simeq \frac{\pi^2 + n^2}{8ma^2} \ll V_0 \ll 3$ 

基府状態で運動量 P E剥尾.

型定後の状態 (4) | Yp > 2 const Citx

到定後の式地一期待他 (5) < Yp | H | Yp > 2 Zm + Vo >> Eac

到定には最低でも はいいいのエネルギーかいな男

5

一分= 点(ハナノン) で気を測定→確彰」でからし かかれるのはスピンを直接「見3」のではなく、測定器を通いスプン状態を到りる。 正則定義スセツの鉄管に応じて、鉄管を大きく変化させる量子。 ·スtoソと割尾器が相互作用し、両者の出た窓がエンタングでした。 ●このエンタングリレメントが生じたの音点で、一見り定の4の正型的プロセスは気の

製定の規則

多割定器の役割

状態 (1/1/191/191/2) 2 到暗器の状態を(为此的以到)定 8 三人の大見り 石曜幸ら 到定器の表示 up 到定後の状態 「か」中か これが、 石曜幸ら 到定器の表示 down 到定後の状態 「シ」中」 スセック別定 ・調管の物理的プロセスか、終了したところで、「割管の規則」を使えば、いい、 Eの表現1 (1)(里1)(里1)(里1)(里1)(里1) 到它的积别色田之便,2台图之便,2台新果日同口" スセッと他の量子系がエンタンかいにかける。物理的プロロスは祭る 多问题点上一点的解默:「安定」在2005状態」 四内题点 1 前回のP9の時間発展 177,1172→ 177,1772, 177,1172→ 177,1122 (12, 17) 2 -> 127, 1422 127, 1472 (1)  $1 \rightarrow 7, 177_2 = \sqrt{2} \{177, +117, 5177_2$ 三则定。4的理》,由也之时是了?  $\rightarrow \frac{1}{\sqrt{2}} \left\{ | \uparrow \rangle_1 | \uparrow \rangle_2 + | \downarrow \rangle_1 | \downarrow \rangle_2 \right\}$ スピックとスピックングには ペンエとんしノとか、一次の大人のR しかりと ? CL2より? 面が同じ時の発展 (2)  $\frac{1}{\sqrt{2}}(17), 17)_2 + 11), (1)_2 \rightarrow \frac{1}{\sqrt{2}}(17), 17)_2 + 11), (7)_2$  $a^{\prime}=(a^{\prime})^{\prime\prime}$ 一曲四分义 エンタングリレメントが解けてしまったくし

一般に(1)(一)(重) -> (1)(重) +(1)(重)

という時間発展が可能な5は"

(2) 元(1/2)(里) +112(里) → 1→2(里。) と(13)時間発展も可能をも可能をある。

到定器とスピンがエンタングにしてだけでは 到底の物理的プロセスは終了しなり?

また"到定の規則を使ってはいけなりのか?

!/

の問題点 2 スセッと測定器がエッタングルはたまだ。

(1) 
$$|\Xi_{\text{ent}}\rangle = \frac{1}{55} \{|\uparrow\rangle| \underline{\P}_{\uparrow}\rangle + |\downarrow\rangle|\underline{\P}_{\downarrow}\rangle$$

(2) (1)=1=(1-)+(e)), (1)=1=(1-)) EAXL2整理

$$(3)|\Xi_{\text{ent.}}\rangle = \frac{1}{\sqrt{2}}(1\rightarrow)|\Phi_{+}\rangle + |\epsilon\rangle|\Phi_{-}\rangle$$

$$((4/| \Phi_{+}) = \frac{1}{\sqrt{2}} (| \Phi_{+}) + ( \Phi_{+})^{2} / ( \Phi_{-}) = \frac{1}{\sqrt{2}} (| \Phi_{+}) - | \Phi_{+})^{2} )$$

この刊分2、当別定の共別を使うと
る確率立 2、 (-)/ $(\Phi_+)$  OR (-)( $\Phi_-$ ) ??

言ないまたくらからう・・

四安定(た又クロな状態(個題点2」に2112) (2

(1)には判定に敗いを武があるが、(2)にはらり(aを"33)

D 2005系によける不可強は(「向題点」」に2112)

しかし、大日由度の引では、世向もの時向発展を実現するのは、実質的に不可能(古典計でも量子引でも)

割定器が十分に下きければ、(2)の時間発展の可能性の無視で生る

「一〇八年)+117年)がという状態が生まれれる" 同心の物理的プロセスは終了する。 もうすれば、「同心での規則を使ってよい(だろう)

多安定LT-2012分类態の連鎖。期底についるにはかんかくも)【4 ミクロな新 2010な器と 標準的な立場 [<del>]</del>](别(见[年](别(别(见](<del>[</del>] ①で、スピン状態が200万系の安定な状態とエンタング(CLE (到定のプロセ2器)) 田一〇一〇で200万景の安定は出於應の連鎖が又られていて(古典69万世界) ののののでこで「具定の程則を使ってもよい、

MAlice & Bob Martin (Do)= (17,11/2-11/1/2) Aがスセン1のSz, Bがスセン2のŜzを到底 AC #31 IC #32 IB

William Hassa 初期条件(平。)[A。)[B。) An到定器 と )Bn到底器

表え方2 Aが実際 [重7/A07/Bo) - ララ (11)(17/A17)-112/11/A17) (Bo)

Bから製定 Sch.et. 1 「豆 (11) (1) (Aか) (B+) - (17) (A+) (Bか) (金) 三剣(定の大見別を2かる

- ・どちろの考える」でも最終的な結果は完全に同じ
- ・Bが先に測定しAが後に測定に場合も「考ええ2」の図の状態は同じ → どちらが先と思ってもかまわるい!

多しくつめの内観点

四年定位2005年度」とは何か?

われわれはしっかりとした「古典的な世界」を経験する、 「古典的な状態、~「守定した200な状態」が存在するのは確実。

しかし、とれを量子が学の中で、どう厳宏に定式でするのか?

アミクロとマクロの境目はままっているのか?

(11) 時间発展的 東門 内題 CCZ 不可能 LML, 時间発展的 可能 /不可能的 技術 仁 虚存的 3、

ミクロとマクロの向に明確を区別はあるのか? 一これらは大自由度の量子気のいるまいについるの国難を「記録

117

すごでもずであるのはまるいとは、ないべんなのは、なってい、なっていい、なっていい、ないが、ないい、ないが、ないが、ない

5 (5) CB

四「到底の規則」を使わなりですませられないのかに

「ロア」という表示を見たあなた るのい」という表示を見たあなた (2) (一) (一) (里。) (里。)

状態は重わらわせに分成してIICが"各点のブランチで"すらたは IIIIであかの実験結果を経験の(多世界解釈)

・「安定は200方状態の連鎖を認めいは、はは、あたりまえの考え(だと思う)

・こう考えることで、方にかの題が解来するわけどはない(と思う)